

今後の中学校部活動の在り方について

学校教育部 教育指導課

1. 政策等の背景・目的及び効果

本市における中学校部活動の在り方については、スポーツ庁及び文化庁において策定された「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を踏まえて、本市の実情に添った「ひらかたモデル」としての部活動の方針の改訂に向けて、枚方市中学校部活動の在り方懇話会や関係課で組織する庁内委員会において協議、検討を進めています。

このたび令和5年（2023年）11月に行った児童生徒対象のアンケートの結果や令和6年（2024年）1～3月の試行実施（自由体験型地域部活動（大学との連携））の実績をもとに、令和6年度の試行実施（案）をお示しするものです。

2. 内容 資料1参照

(1) 試行実施（案）等について

- ① 統括団体によるクラブ運営型（9月からの予定）
- ② 学校部活動・地域部活動 組み合わせ型（9月からの予定）
- ③－1 自由体験型 地域部活動（レア型）（9月からの予定）
- ③－2 自由体験型 地域部活動（体験型）（6月からの予定）

※枚方市中学校部活動の在り方懇話会については、令和6年度は5回開催する予定

(2) その他

ひらかたモデル策定について

3. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち

施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち



4. 関係法令・条例等

学習指導要領【平成29年度（2017年度）告示】

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン

【令和4年（2022年）12月】

枚方市中学校部活動方針

5. 事業費・財源及びコスト

令和6年度

《事業費》 11,772千円

支出内訳	懇話会報償金	380千円 (9,500円×8人×5回)
	大学への報償金	800千円 (10,000円×8クラブ×10回)
	委託費	5,118千円
	旅費	500千円
	部活動指導員の報酬等	4,974千円

《財源》 一般財源 11,772千円

別途、地域クラブ活動体制整備事業補助金を申請中

6. 資料

中学部活動の在り方について【資料1】

中学校部活動に係るアンケート結果【参考資料1】

令和6年1月から3月の試行実施について【参考資料2】

枚方市中学校部活動の在り方懇話会における意見まとめ【参考資料3】

1. めざす姿

少子化の中でも、将来にわたり、枚方市の子ども達がスポーツ・文化芸術に**継続して親しむことができる機会**を確保
地域の持続可能で多様なスポーツ・文化芸術等に親しむ環境を一体的に整備し、**子ども達の多様な体験機会**を確保



2. 児童生徒アンケート結果について (参考資料1)

(小学校5,6年生) 対象:6729人 回答:4196人(回答率62%)

- 別の学校の児童と活動することをどう思うか? → 肯定的回答 75%
- 地域クラブ活動に参加したいか? → 家の近くなら参加したい34%
- 休日にあれば活動してみたいクラブは? → 漫画アニメ 料理手芸 バドミントン 技術工作 ダンス バasketボール サッカー コンピュータ

(中学生) 対象:9916人 回答:5466人(回答率55%)

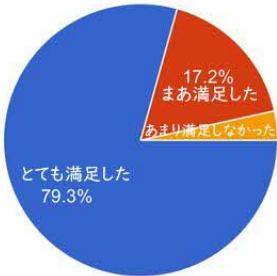
- 部活動に入っている目的は?(複数回答可) → 友達と楽しく活動するため(3119人) 体力・技術を向上させるため(2418人)
- 指導者に何を期待しているか?(複数回答可) → 体力・技術が向上できる(2298人) 部活動をもっと好きになる(1770人) 専門的な技術指導が受けられる(1471人)
- 別の学校の生徒と活動することをどう思うか? → 肯定的回答 74%
- 地域クラブ活動に参加したいか? → 家の近くなら参加したい 25%
- 休日にあれば活動してみたいクラブは? → テニス バドミントン 漫画アニメ バasketボール ダンス バレーボール 軽音楽・音楽 サッカー 料理・手芸 ソフトテニス

3. 令和6年1月~3月の 試行実施のまとめと課題 (参考資料2)

③-2 自由体験型 地域部活動 (体験型)

のべ参加人数:64人
アンケート回収人数:29人

活動の満足度



また参加したいか

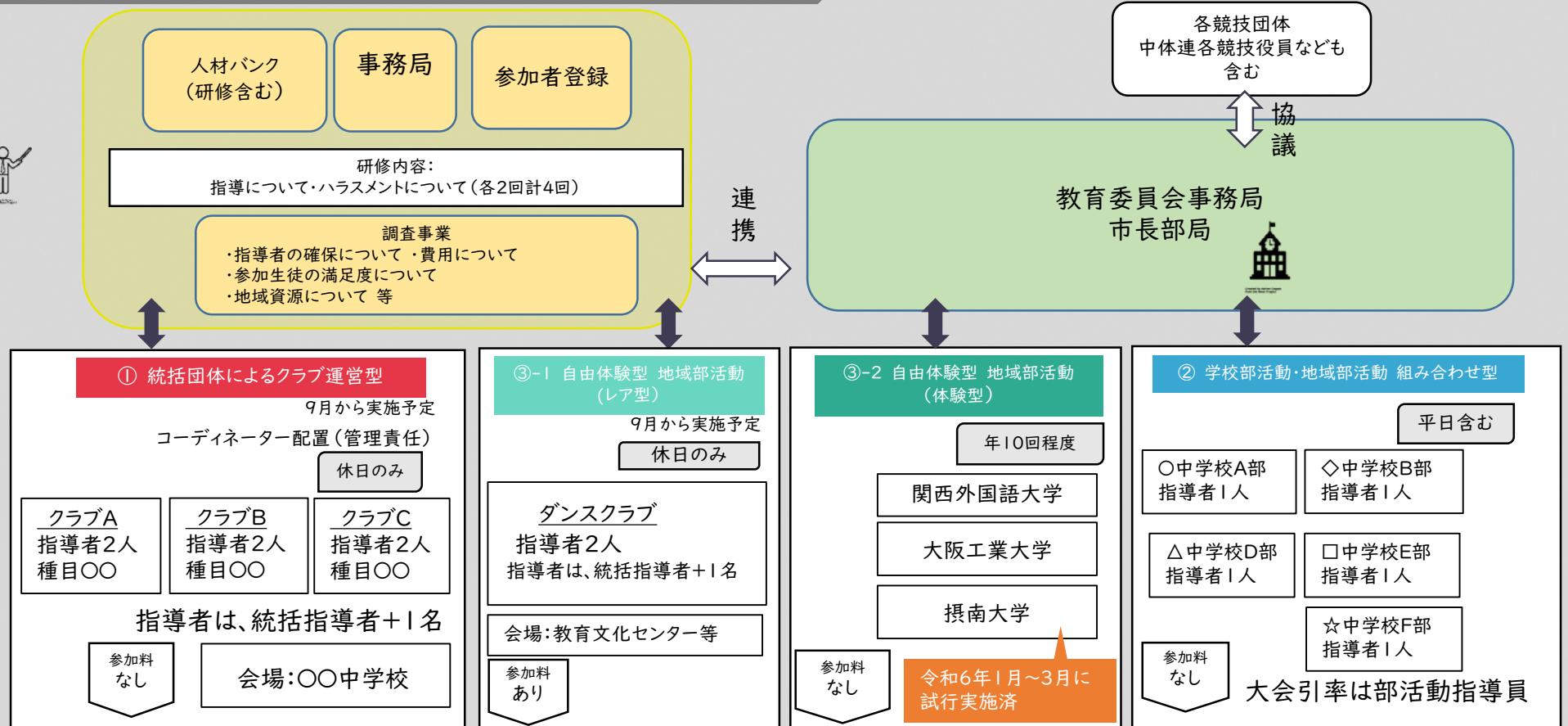


見えてきた課題
活動場所
マインドセット
周知方法
日程
覚書の締結
技術の習熟 等

4. 枚方市中学校部活動の在り方懇話会における意見まとめ (参考資料3)

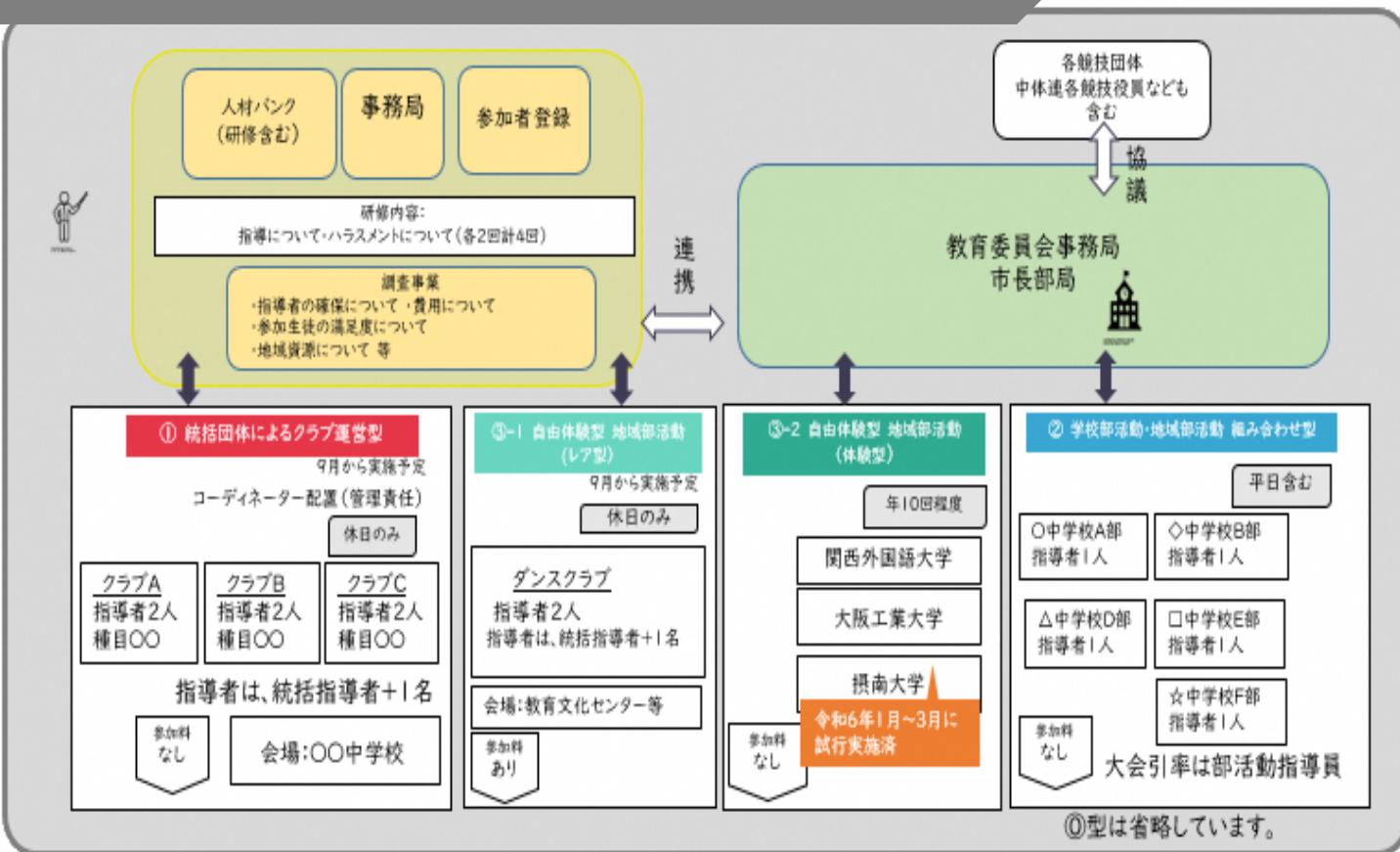
- ・事件・事故を未然に防ぐという視点から、指導者だけでなく、**コーディネーター等**を置くと良い。指導者を統括しサポートする団体の責任者・管理者の役割が重要。
- ・参加する生徒にとって平日及び休日の活動方針が共通していないと混乱をきたす。指導者間の生徒も含めた**情報共有**は重要。
- ・**休日における地域クラブでの指導**を、部活動としての**平日の練習に活用**している例もある。
- ・指導者の方に最新の指導方法、救急時の対応などを知る機会を作ってほしい。
- ・**適切な指導者**を選考、配置していった方が良い。
- ・**学校部活動にはない競技を希望する**子どもたちの為の地域移行はあって良い。

5. 令和6年度 試行実施について



◎型は省略しています。

5. 令和6年度 試行実施について (再掲)



6. 本試行実施で検証する課題



ひらかたモデル策定のための課題

- (1) 指導者の質の保障・量の確保方策(教員の兼職兼業含む) (2) スポーツ施設の確保方策 (3) 会費の在り方 (4) 保険の在り方 (5) 保護者・地域への周知方法について (6) 部活動に係る備品について (7) 新たな課題検証

① 統括団体によるクラブ運営型

- (1) 指導者の質の保障・量の確保方策
(4) 保護者・地域への周知方法について
(5) 保険の在り方
(6) 部活動に係る備品について

② 学校部活動・地域部活動 組み合わせ型

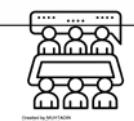
- (1) 指導者の質の保障・量の確保方策
(4) 保護者・地域への周知方法について
(6) 部活動に係る備品について

③-1 自由体験型 地域部活動(レア型)

- (1) 指導者の質の保障・量の確保方策
(2) スポーツ施設の確保方策
(3) 費用の在り方
(4) 保護者・地域への周知方法について
(5) 保険の在り方
(6) 部活動に係る備品について

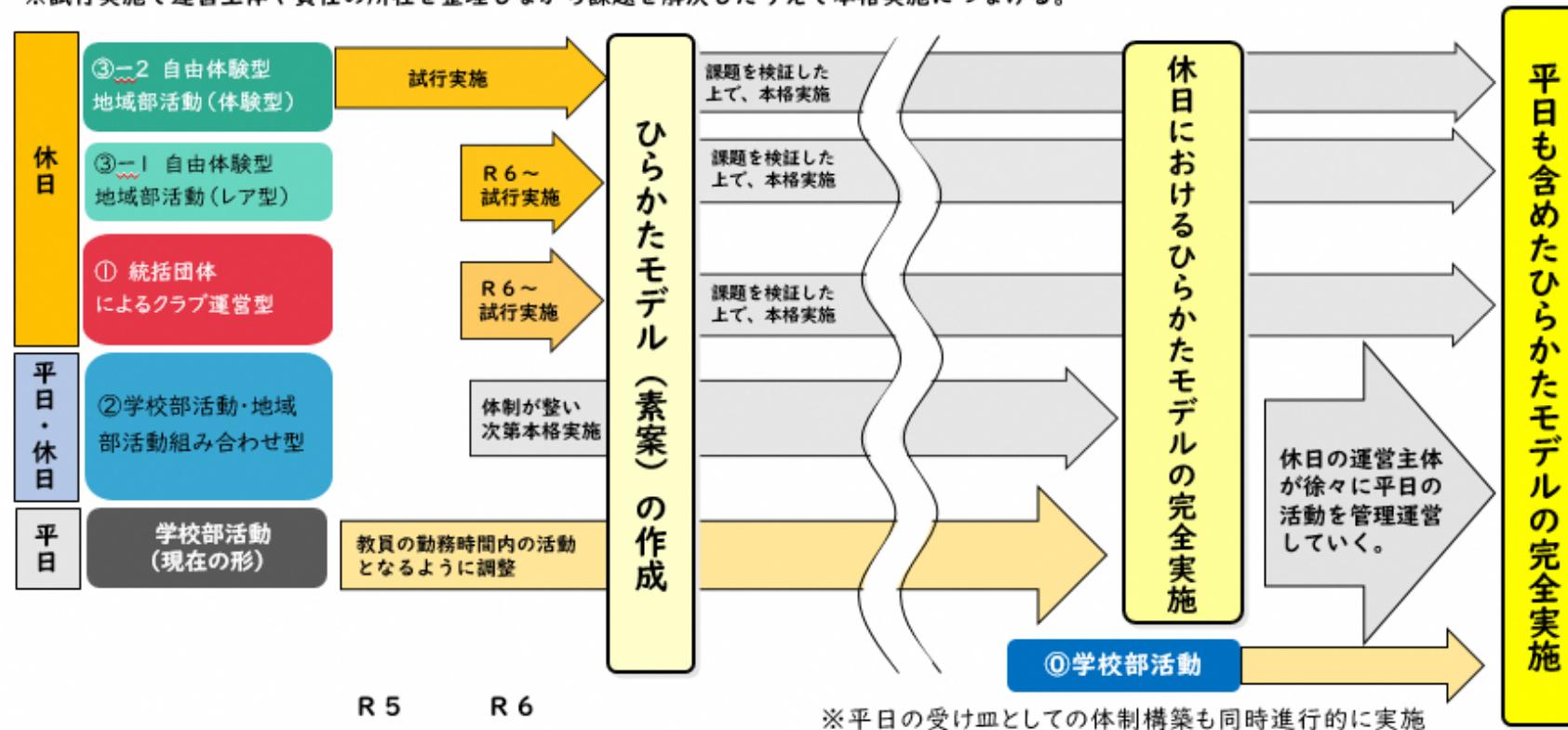
③-2 自由体験型 地域部活動(体験型)

- (1) 指導者の質の保障・量の確保方策
(2) スポーツ施設の確保方策
(4) 保護者・地域への周知方法について
(5) 保険の在り方



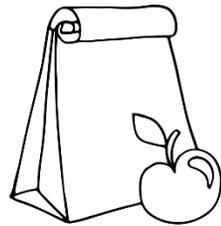
7. ひらかたモデル策定にむけたロードマップ

※試行実施で運営主体や責任の所在を整理しながら課題を解決したうえで本格実施につなげる。



中学部活動に係るアンケート結果

(児童・生徒アンケート)



Created by Maria Zamchy
from the Noun Project



部活動に入っている目的

友達と楽しく活動するため 体力・技術を向上させるため

Created by Fauzan Adliim:



指導者に期待していること

体力・技術が向上できる 部活動をもっと好きになる
専門的な技術指導が受けられる

Created by Fauzan Adliim:



別の学校の生徒との活動

やってみたいと思う

Created by Fauzan Adliim:



地域クラブ活動への参加

家の近くなら参加したい

Created by Fauzan Adliim:



休日であれば参加したいクラブ

中学生:テニス・バドミントン・漫画アニメ・バスケットボール・ダンス
小学生:漫画アニメ・料理手芸・バドミントン・技術工作・ダンス

Created by Fauzan Adliim:

1. 現行の部活動について
(生徒)

対象者:枚方市立中学校生徒

対象人数:9916人

回答人数:5466人

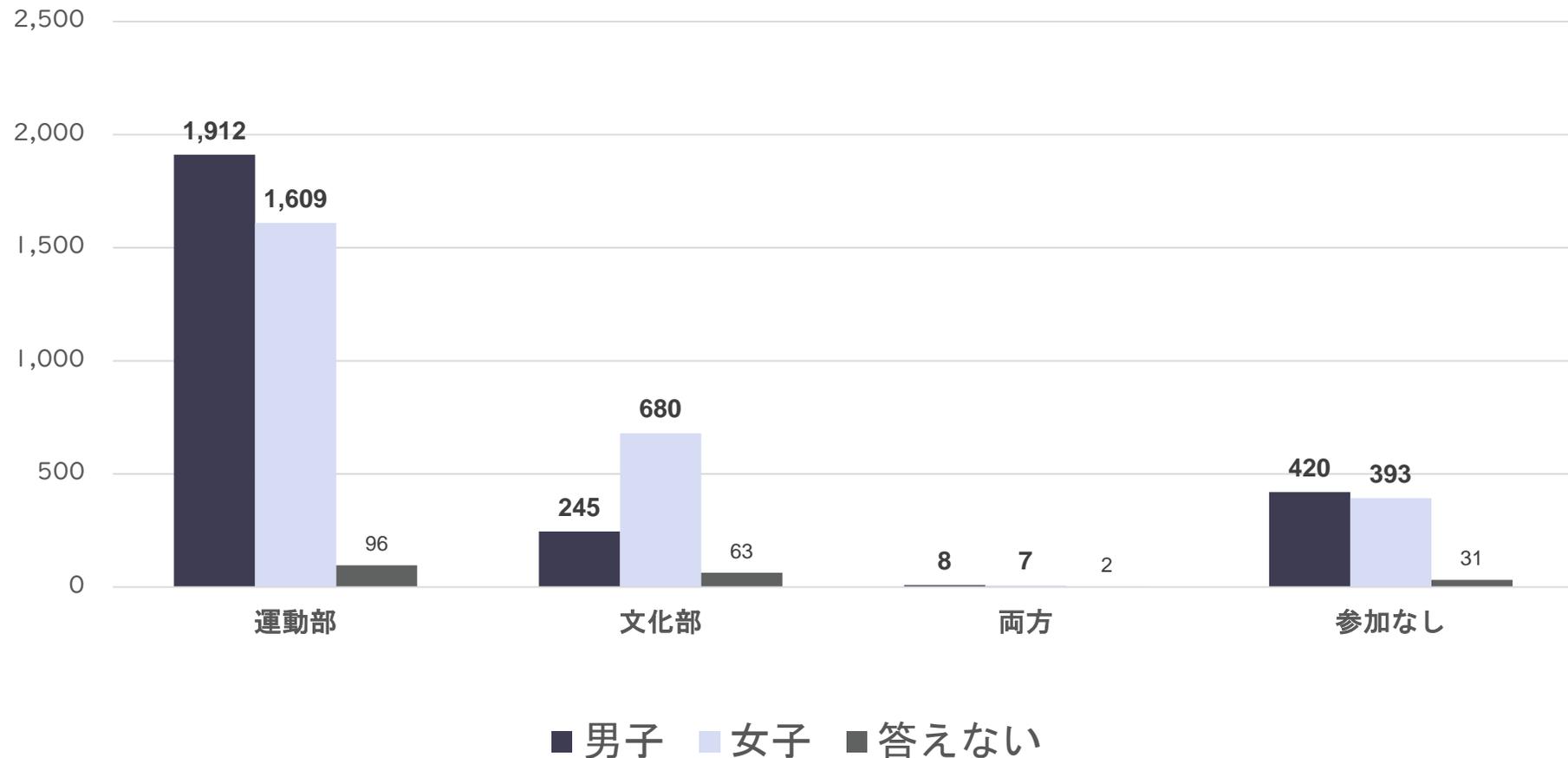
(回答率:55%)



Ⅰ. 現行の部活動について 生徒アンケートより

(Ⅰ) 現在、入部している部活動について(5466件回答)

【Ⅰ】入部人数



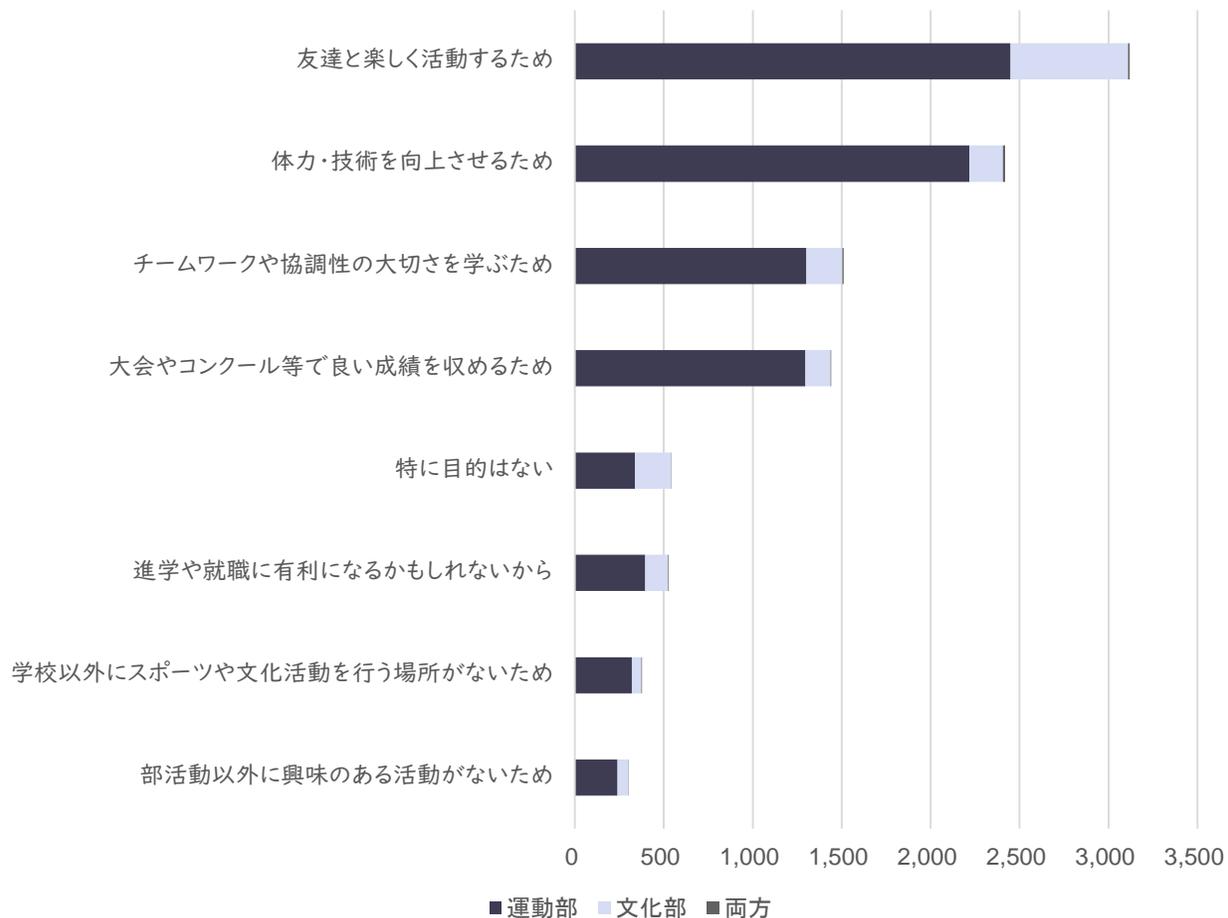


1. 現行の部活動について 生徒アンケートより

(2) 部活動に入っている目的は？ (5466件回答)



Created by Cristiano Zevas
From the Noun Project



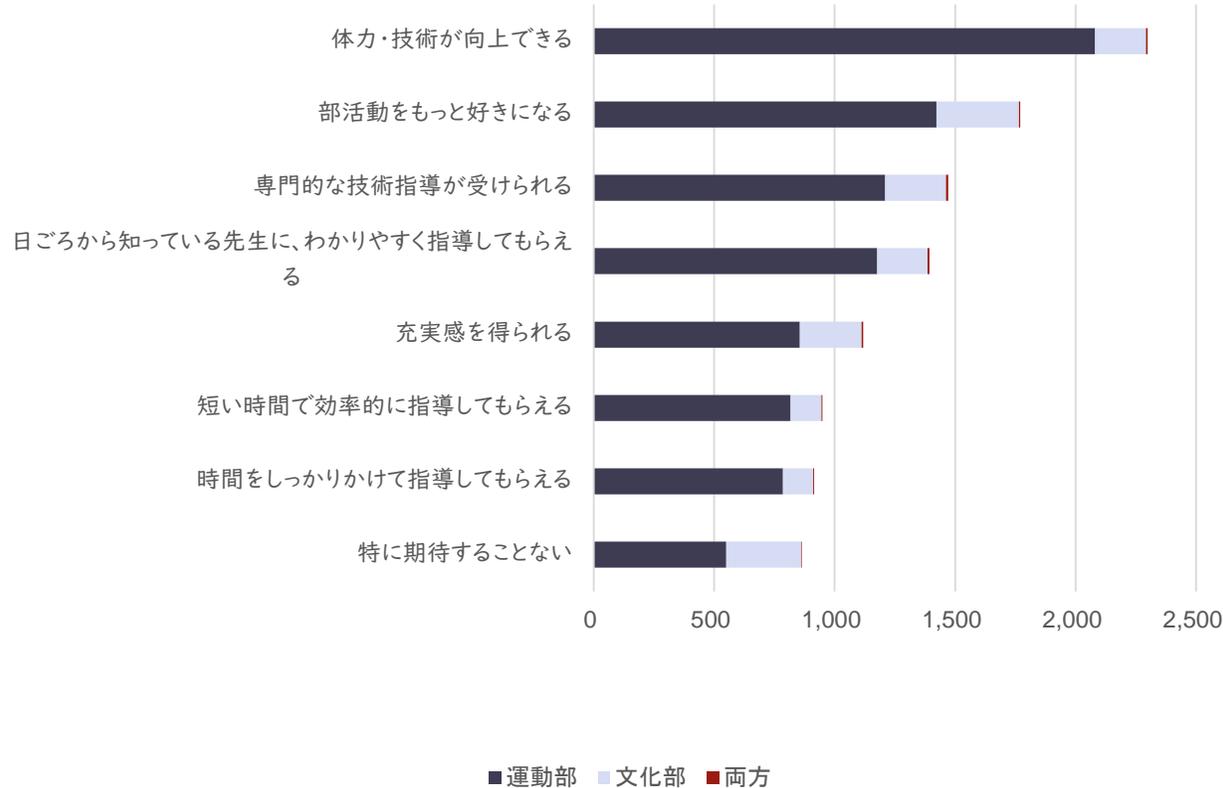
	運動部	文化部	両方	合計
1 友達と楽しく活動するため	2,450	659	10	3,119
2 体力・技術を向上させるため	2,218	189	11	2,418
3 チームワークや協調性の大切さを学ぶため	1,302	202	7	1,511
4 大会やコンクール等で良い成績を収めるため	1,297	140	5	1,442
5 特に目的はない	338	202	2	542
6 進学や就職に有利になるかもしれないから	395	128	4	527
7 学校以外にスポーツや文化活動を行う場所がないため	321	53	3	377
8 部活動以外に興味のある活動がないため	240	60	3	303

1. 現行の部活動について 生徒アンケートより

(3) 指導者に何を期待しているか？ (5466件回答)



Created by Becris



	運動部	文化部	両方	合計
1 体力・技術が向上できる	2,081	211	6	2,298
2 部活動をもっと好きになる	1,422	342	6	1,770
3 専門的な技術指導が受けられる	1,209	253	9	1,471
4 日ごろから知っている先生に、わかりやすく指導してもらえる	1,176	210	7	1,393
5 充実感を得られる	856	256	6	1,118
6 短い時間で効率的に指導してもらえる	817	128	4	949
7 時間をしっかりかけて指導してもらえる	785	126	4	915
8 特に期待することない	550	311	2	863

2. 地域移行に対して (生徒)





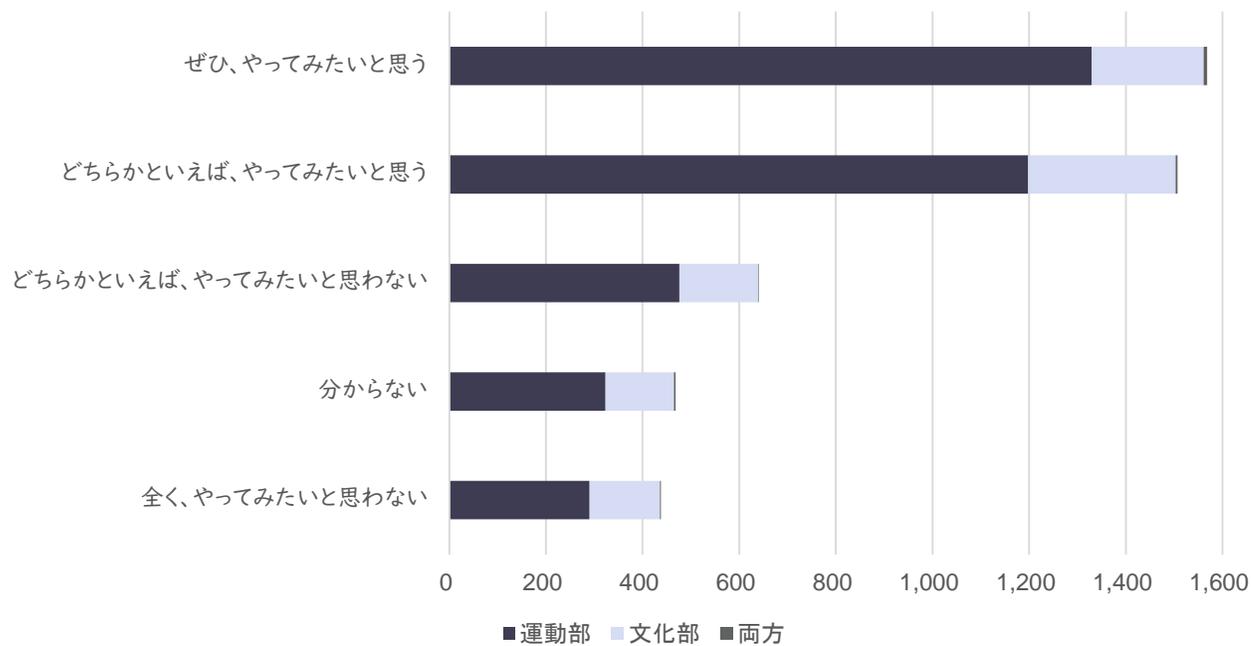
Created by Becris

2. 地域移行に対して 生徒アンケートより

(1) 別の学校の生徒と活動することをどう思うか？ (4621件回答)



Created by Maria Zanchy from the Moon Project



	運動部	文化部	両方	合計
1 ぜひ、やってみたいと思う	1,330	231	7	1,568
2 どちらかといえば、やってみたいと思う	1,198	305	4	1,507
3 どちらかといえば、やってみたいと思わない	476	163	1	640
4 分からない	323	142	3	468
5 全く、やってみたいと思わない	290	146	2	438



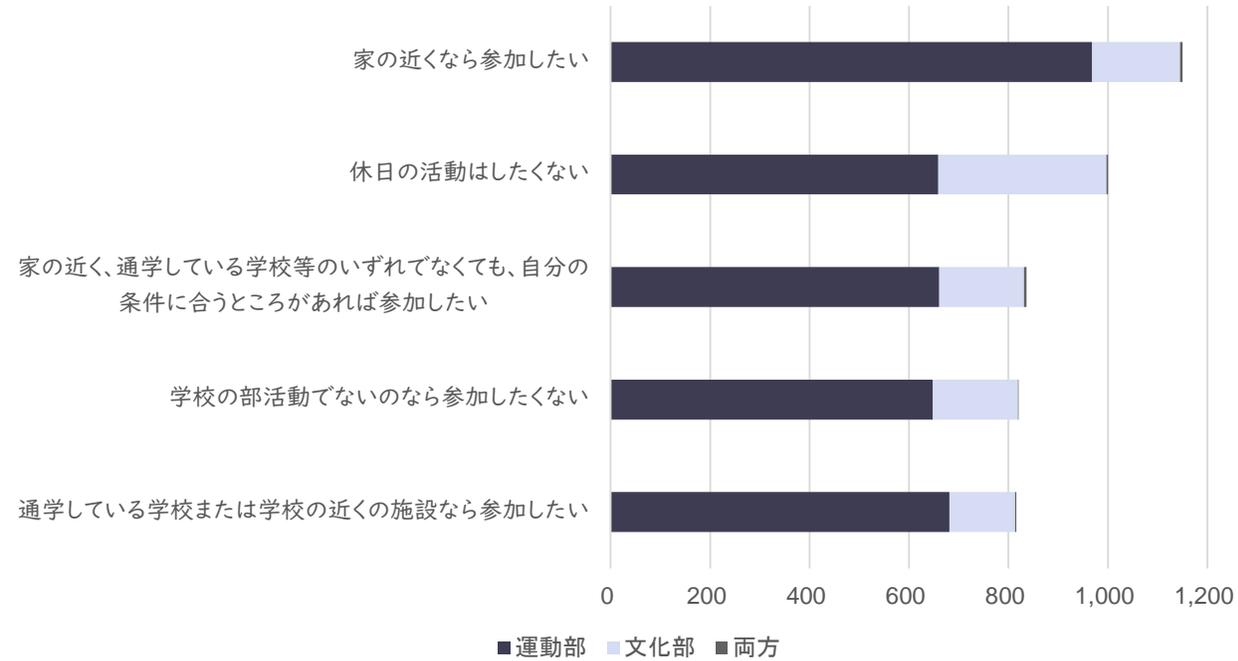
Created by Becris

2. 地域移行に対して 生徒アンケートより

(2) 地域クラブ活動に参加したいか？ (5466件回答)



Created by Maria Zanchy from the Moon Project



	運動部	文化部	両方	合計
1 家の近くなら参加したい	968	177	5	1,150
2 休日の活動はしたくない	659	338	3	1,000
3 自分の条件に合うところがあれば参加したい	661	170	5	836
4 学校の部活動でないのなら参加したくない	648	171	1	820
5 通学している学校または学校の近くの施設なら参加したい	681	132	3	816

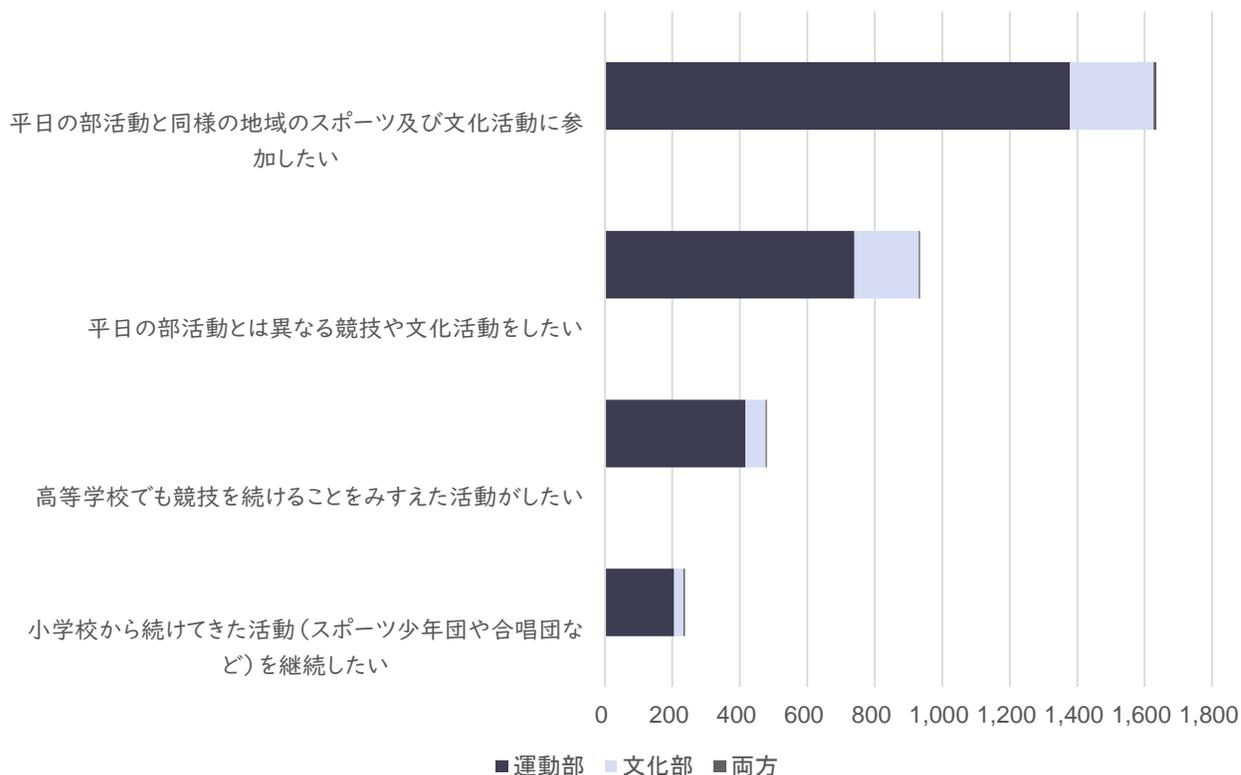


Created by Becris

2. 地域移行に対して 生徒アンケートより

(3) 地域のクラブで、どのような活動がしたいか？ (2802件回答)

((2)において肯定的回答をした生徒のみ回答)



	運動部	文化部	両方	合計
1 平日の部活動と同様の地域のスポーツ及び文化活動に参加したい	1,378	248	9	1,635
2 平日の部活動とは異なる競技や文化活動をしたい	740	190	4	934
3 高等学校でも競技を続けることをみすえた活動がしたい	417	59	4	480
4 小学校から続けてきた活動(スポーツ少年団や合唱団など)を継続したい	205	28	4	237



Created by Becris

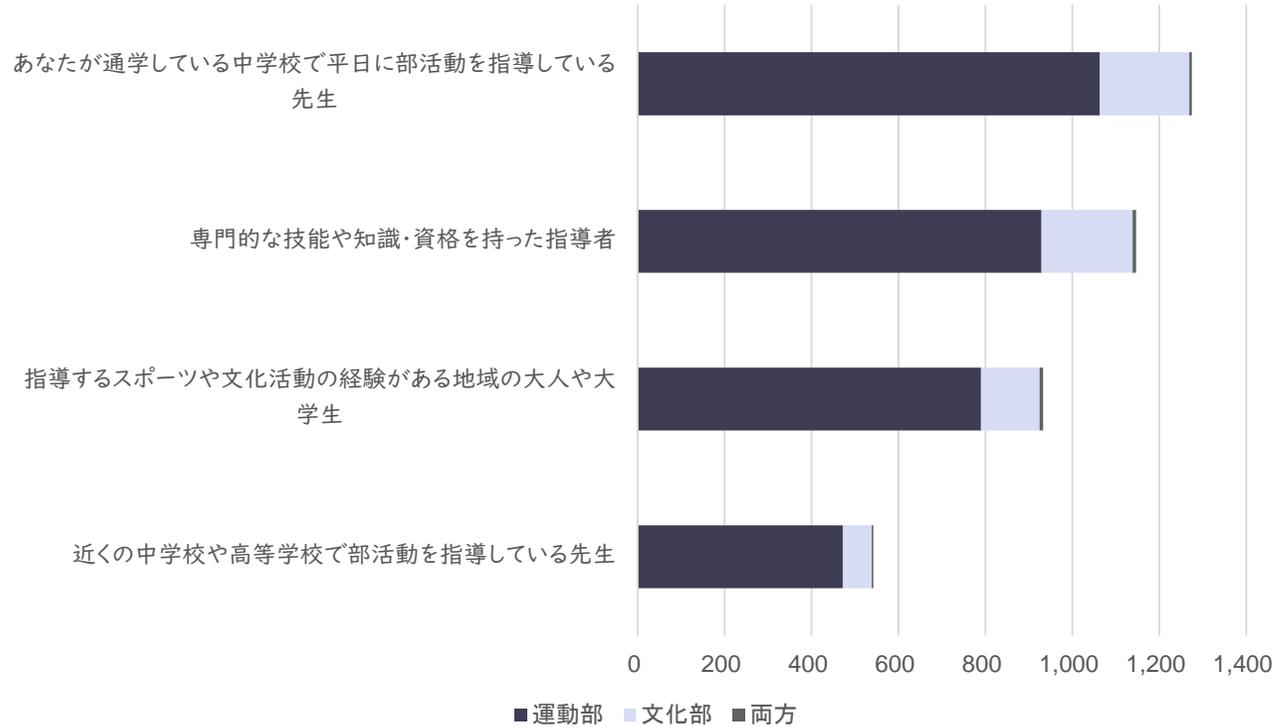
2. 地域移行に対して 生徒アンケートより



Created by Maria Zanchy from the Moon Project

(4) 指導者について (2802件回答)

((3)において肯定的回答をした生徒のみ回答)



	運動部	文化部	両方	合計
1 あなたが通学している中学校で平日に部活動を指導している先生	1,063	206	6	1,275
2 専門的な技能や知識・資格を持った指導者	929	210	8	1,147
3 指導するスポーツや文化活動の経験がある地域の大人や大学生	790	135	8	933
4 近くの中学校や高等学校で部活動を指導している先生	472	67	3	542



Created by Becris

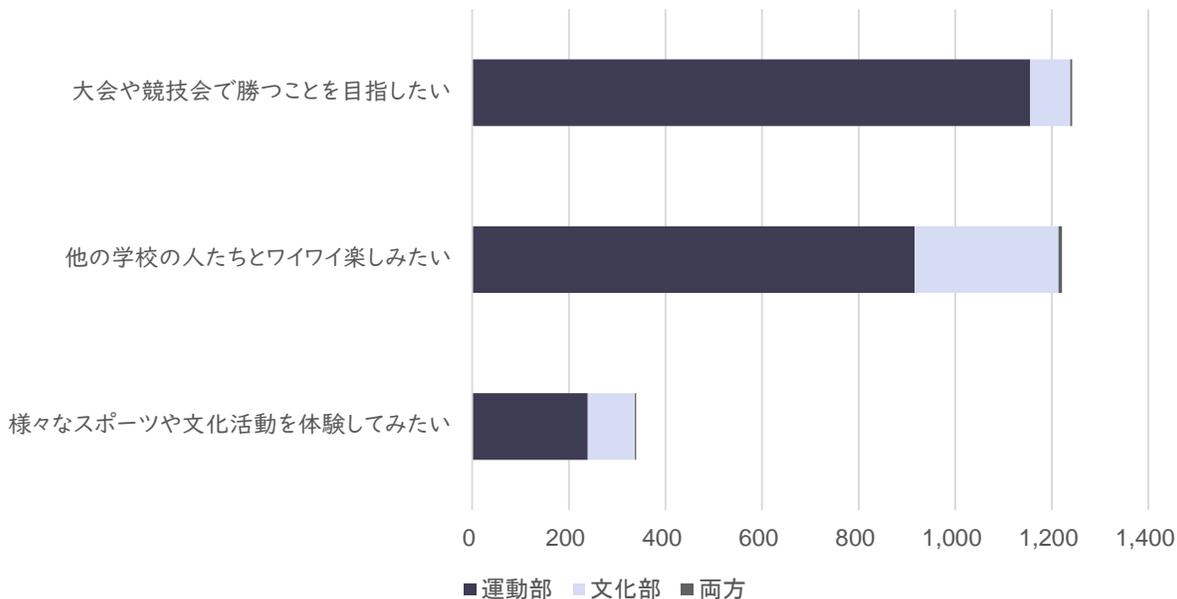
2. 地域移行に対して 生徒アンケートより

(5) どのぐらいのレベルを望むか (2802件回答)

((2)において肯定的回答をした生徒のみ回答)



Created by Maria Zanchy
from the Moon Project



	運動部	文化部	両方	合計
1 大会や競技会で勝つことを目指したい	1,155	83	4	1,242
2 他の学校の人たちとワイワイ楽しみたい	916	298	7	1,221
3 様々なスポーツや文化活動を体験してみたい	239	98	2	339



Created by Becris

2. 地域移行に対して 生徒アンケートより

(6) 休日にあれば活動してみたいクラブは? (2802件回答)

((2)において肯定的回答をした生徒のみ回答)



Created by Maria Zanchy
from the Moon Project

部活名	人数	部活名	人数	部活名	人数
テニス	886	軟式野球	433	ソフトボール	220
バドミントン	875	コンピュータ	429	太鼓	208
漫画・アニメ	810	水泳	427	剣道	202
バスケットボール	793	アーチェリー	414	合唱	202
ダンス	759	空手	347	少林寺拳法	199
バレーボール	734	演劇	327	囲碁・将棋	191
軽音楽・音楽	664	技術・工作	309	ラグビー	189
サッカー	640	プログラミング	303	園芸	187
料理・手芸	637	家庭科	274	そろばん	182
ソフトテニス	634	科学・理科	272	ヨガ	174
ブラスバンド・吹奏楽	534	合気道	265	チアリーディング	171
美術	522	ハンドボール	253	文芸	171
卓球	496	英語	235	グラフィックデザイン	132
茶道・華道	470	フットサル	225	マーチング	113
陸上競技	438	器械体操	223	ボッチャ	96

3. 地域移行に対して(児童)

対象者:枚方市立小学校

5・6年生児童

対象人数:6729人

回答人数:4196人

(回答率:62%)

	男子	女子	答えない	合計
5年生	1,048	1,012	89	2,149
6年生	974	1,005	68	2,047
合計	2,022	2,017	157	4,196

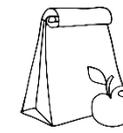




Created by Becris

3. 地域移行に対して 児童アンケートより

(1) 休日にあれば活動してみたいクラブは?(4196件回答)



Created by Maria Zanchy from the Moon Project

部活名	人数	部活名	人数	部活名	人数
マンガ・アニメ	1115	科学・理科	487	ソフトテニス	233
料理・手芸	925	茶道・華道	440	ハンドボール	225
バドミントン	869	陸上競技	430	そろばん	206
技術・工作	771	アーチェリー	431	ヨガ	188
ダンス	702	軽音楽・音楽	414	ボッチャ	188
バスケットボール	658	軟式野球	389	ソフトボール	183
サッカー	640	演劇	328	園芸	159
コンピュータ	651	ブラスバンド(吹奏楽)	305	器械体操	148
テニス	612	空手	302	チアリーディング	130
卓球	599	英語	274	合気道	127
美術	588	剣道	269	文芸	122
バレーボール	551	太鼓	261	ラグビー	116
家庭科	548	合唱	259	グラフィックデザイン	107
水泳	542	フットサル	240	少林寺拳法	74
プログラミング	540	囲碁・将棋	239	マーチング	46



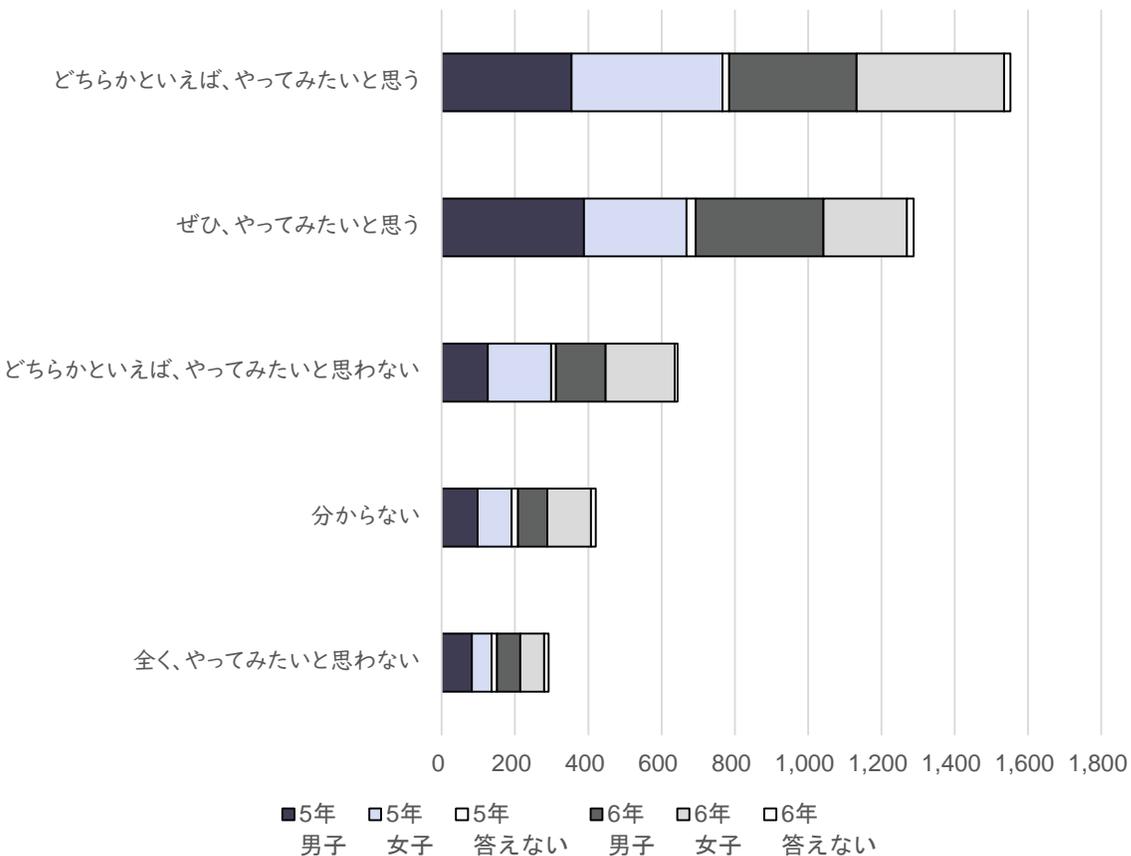
Created by Becris

3. 地域移行に対して 児童アンケートより

(2) 別の学校の児童と活動することをどう思うか？ (4196件回答)



Created by Maria Zanchy from the Moon Project



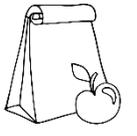
	5年男子	5年女子	5年 答えない	6年男子	6年女子	6年 答えない	合計
1. どちらかといえば、 やってみたいと思う	354	412	19	347	403	17	1,552
2. ぜひ、やってみたいと 思う	388	280	25	349	228	18	1,288
3. どちらかといえば、 やってみたいと思わ ない	126	173	13	135	189	8	644
4. 分からない	98	93	17	80	119	13	420
5. 全く、やってみたいと 思わない	82	54	15	63	66	12	292



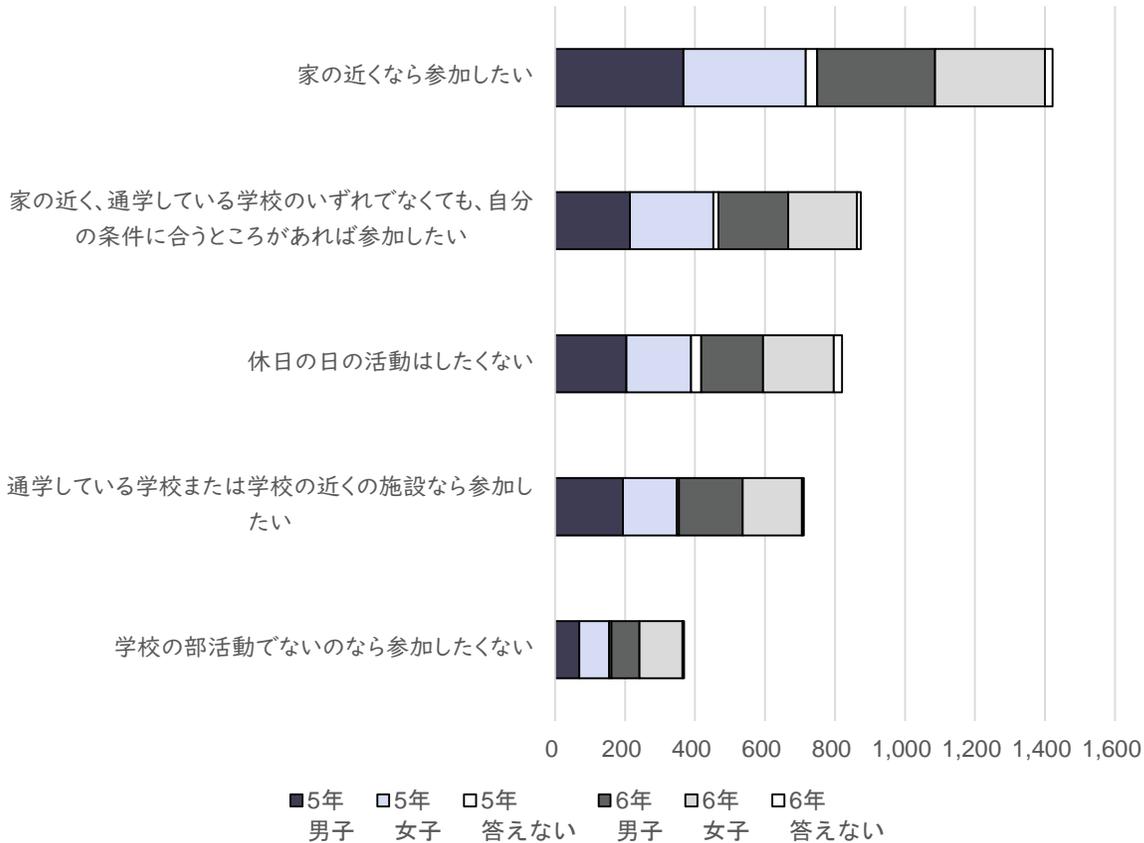
Created by Becris

3. 地域移行に対して 児童アンケートより

(3) 地域のクラブの活動に参加したいか? (4196件回答)



Created by Maria Zanchy from the Moon Project



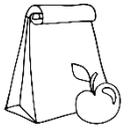
	5年男子	5年女子	5年 答えない	6年男子	6年女子	6年 答えない	合計
1 家の近くなら参加したい	367	349	33	337	314	22	1,422
2 自分の条件に合うところがあれば参加したい	214	238	15	199	197	11	874
3 休日の日の活動はしたくない	204	185	29	176	202	24	820
4 通学している学校または学校の近くの施設なら参加したい	194	154	6	182	169	6	711
5 学校の部活動でないのなら参加したくない	69	86	6	80	123	5	369



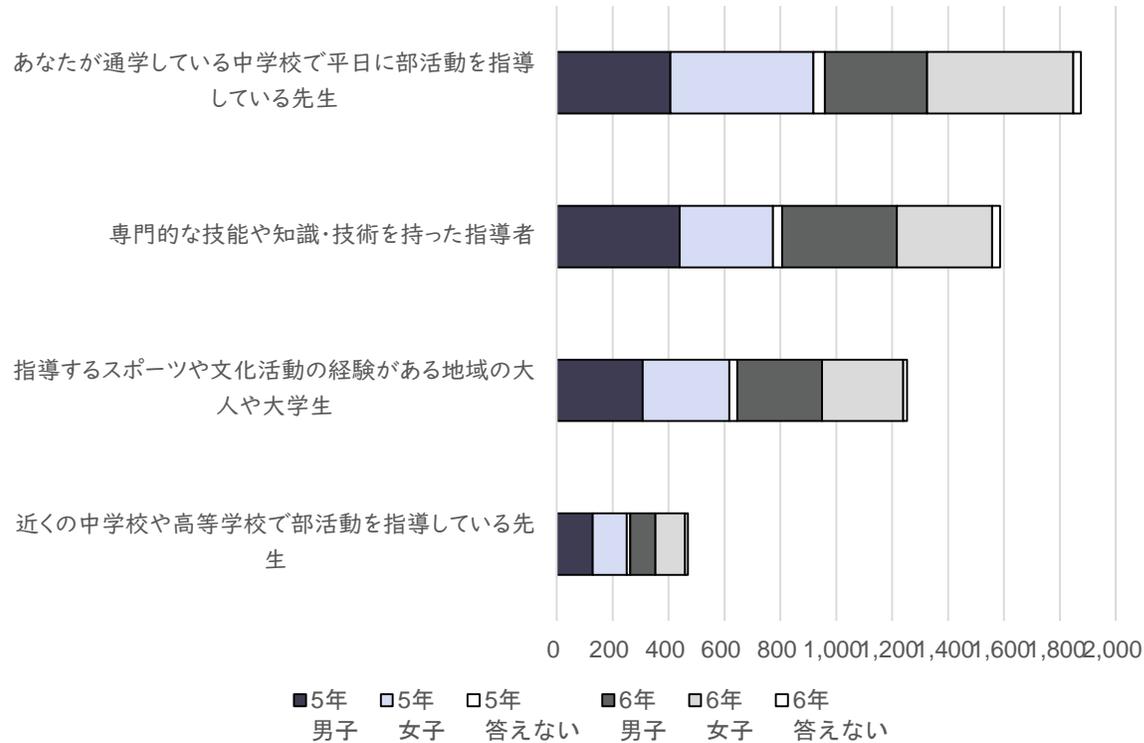
Created by Becris

3. 地域移行に対して 児童アンケートより

(4) 指導者について? (4196件回答)



Created by Maria Zanchy from the Moon Project



	5年男子	5年女子	5年 答えない	6年男子	6年女子	6年 答えない	合計
1 あなたが通学している中学校で平日に部活動を指導している先生	407	511	41	366	523	28	1,876
2 専門的な技能や知識・技術を持った指導者	440	334	33	410	341	28	1,586
3 指導するスポーツや文化活動の経験がある地域の大人や大学生	307	310	29	303	291	13	1,253
4 近くの中学校や高等学校で部活動を指導している先生	129	122	12	90	106	10	469

令和6年1月～3月の試行実施について

ひらかたモデルにおけるマトリクス(案)

区分	生徒の希望	活動場所	指導者	参加者の費用負担		責任の所在
				参加費	保険料	
① 統括団体によるクラブ運営型 統括団体により地域クラブを運営していく形	大会などでの活躍をめざす 様々なスポーツや文化に親しむことをめざす	<ul style="list-style-type: none"> 各学校 拠点校 外部施設等 	<ul style="list-style-type: none"> 団体の専門人材 有資格の外部人材 教員の兼業 	<div style="background-color: yellow; padding: 10px; width: 50px; margin: 0 auto;"> 検 討 課 題 </div>	<div style="background-color: yellow; padding: 10px; width: 50px; margin: 0 auto;"> 検 討 課 題 </div>	<div style="background-color: yellow; padding: 10px; width: 50px; margin: 0 auto;"> 検 討 課 題 </div>
③-1 自由体験型 地域部活動 (レア型) 統括団体が、従来の学校にない競技を新たな受け皿として設置し運営する形	大会などでの活躍をめざす 様々なスポーツや文化に親しむことをめざす	外部施設等	<ul style="list-style-type: none"> 団体の専門人材 有資格の外部人材 教員の兼業 	<div style="background-color: yellow; padding: 10px; width: 50px; margin: 0 auto;"> 検 討 課 題 </div>	<div style="background-color: yellow; padding: 10px; width: 50px; margin: 0 auto;"> 検 討 課 題 </div>	<div style="background-color: yellow; padding: 10px; width: 50px; margin: 0 auto;"> 検 討 課 題 </div>
② 学校部活動・地域部活動 組み合わせ型 現在の部活動に外部指導者を派遣する形	大会などでの活躍をめざす 様々なスポーツや文化に親しむことをめざす	学校	有資格の外部人材	無料	なし	学校
③-2 自由体験型 地域部活動 (体験型) 大学等との連携により新たな受け皿を設置し運営する形	様々なスポーツや文化に親しむことをめざす	大学等	学生等	無料 (市の負担)	年800円 (参加者の負担)※	当面は市 (詳細は大学とも調整)
④ 授業の延長的活動型 学校部活動 授業の延長的な活動で、平日に30分から60分程度、勤務時間の範囲内で教員が対応する形	様々なスポーツや文化に親しむことをめざす	学校	教員	無料	なし	学校

※③-2自由体験型 地域部活動(体験型)の1~3月の試行実施については、保険料は市が負担する。

本試行実施で検証すべき課題

- (1) 指導者の質の保障・量の確保方策:大学生の指導者としての可能性
- (2) スポーツ施設の確保方策:大学での活動の実施について
- (3) 保護者・地域への周知方法について:チラシ等を使った周知の妥当性
- (4) 保険の在り方:保険の適用範囲の妥当性

③-2 自由体験型 地域部活動(体験型)

参加無料 枚方市内の大学生とクラブ活動をしてみませんか? 第1弾

枚方市では休日の活動の選択肢を増やし、一人一人のニーズに応じたスポーツ・文化活動ができることをめざします。

ホミの可能性は無限大!
The sky is the limit

大阪工業大学 ジャグリングクラブ 会場:大阪工業大学 枚方キャンパス	大阪工業大学 ドローンプロジェクト 会場:大阪工業大学 枚方キャンパス
関西外国語大学 駅伝クラブ 会場:関西外国語大学 中堂キャンパス	お申し込みはQRコードから クラブ詳細は申し込みページにございます

申し込み締め切り1/19(金)
※ただし、関西外国語大学 駅伝クラブの1月20日(土)の回は1/19(金)まで

各クラブの詳細は案内ページに

参加無料 枚方市内の大学生とクラブ活動をしてみませんか? 1回だけの参加OK

関西外国語大学 女子駅伝部
①1月20日(土)②2月17日(土)③3月16日(土)
いずれも10:00~12:00 定員:各回30名
会場:関西外国語大学 陸上競技場

大阪工業大学 ジャグリングクラブJSS
①2月10日(土)②2月17日(土)③3月2日(土)
いずれも14:00~17:00 定員:各回25名
大阪工業大学 枚方キャンパス 211多目的室

大阪工業大学 ドローンプロジェクト
①2月10日(土)②2月17日(土)③3月2日(土)
いずれも14:00~16:00 定員:各回10名
大阪工業大学 枚方キャンパス 知能情報システム研究センター

応募者多数の場合は、抽選となります。抽選結果や当日の詳細などは後日、メールにてお知らせします。

現地集合・現地解散となり、道中は保護者責任となります。ただし、行き帰りや活動中については保険に加入します。(3月までは試行実施のため、保険料のご負担の必要はありません。)

自転車を利用することができるので、自転車で行くことも可能です。活動終了後、簡単なアンケートにご協力ください。

お問い合わせ
枚方市教育委員会 学校教育課 教育指導課
伊藤 田中 場上
TEL:050-7105-8052 MAIL:kysidou@city.hirakata.osaka.jp

参加無料 枚方市内の大学生とクラブ活動をしてみませんか? 第2弾

枚方市では休日の活動の選択肢を増やし、一人一人のニーズに応じたスポーツ・文化活動ができることをめざします。

ホミの可能性は無限大!
The sky is the limit

摂南大学 ダンス部枚方支部 LUFF Style 会場:摂南大学 枚方キャンパス	摂南大学 園芸倶楽部(植食) 会場:摂南大学 枚方キャンパス
関西外国語大学 枚方English Village 会場:関西外国語大学 御蔵山キャンパス	お申し込みはQRコードから クラブ詳細は申し込みページにございます

申し込み締め切り1/26(金)
※ただし、摂南大学 ダンス部枚方支部 LUFF Styleの2月3日(土)の回は1/19(金)まで

各クラブの詳細は案内ページに

参加無料 枚方市内の大学生とクラブ活動をしてみませんか? 1回だけの参加OK

摂南大学 ダンス部枚方支部 LUFF Style
①2月3日(土)②2月10日(土)③2月17日(土)
いずれも13:00~16:00 定員:各回10名
会場:摂南大学 枚方キャンパス アーナー

摂南大学 園芸倶楽部(植食)
①2月10日(土)②2月17日(土)③3月2日(土)
いずれも10:00~12:00 定員:各回10名
摂南大学 枚方キャンパス 農圃

関西外国語大学 枚方English Village
2月24日(土)9:30~12:00 定員:40名
会場:関西外国語大学 御蔵山キャンパス

Hirakata English Villageは、英語だけでなく外国の人とコミュニケーションをとるイベントです。関西外国語大学の留学生と、英語で話せる方、日本語が話せる方、日本人の大学生が参加して行われるので、安心して、自分の英語が試してみませんか?

応募者多数の場合は、抽選となります。抽選結果や当日の詳細などは後日、メールにてお知らせします。

現地集合・現地解散となり、道中は保護者責任となります。ただし、行き帰りや活動中については保険に加入します。(3月までは試行実施のため、保険料のご負担の必要はありません。)

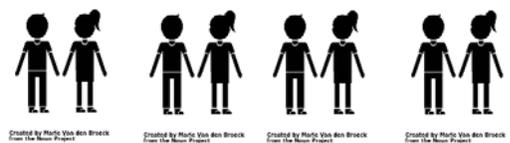
大学内に駐車場等がございます。バスなどの公共交通機関お越しください。活動終了後、簡単なアンケートにご協力ください。

お問い合わせ
枚方市教育委員会 学校教育課 教育指導課
伊藤 田中 場上
TEL:050-7105-8052 MAIL:kysidou@city.hirakata.osaka.jp

大学生



- 内容は、大学生がPBLとして活動内容を検討
- 活動前に、市教委主催の事前研修を受講



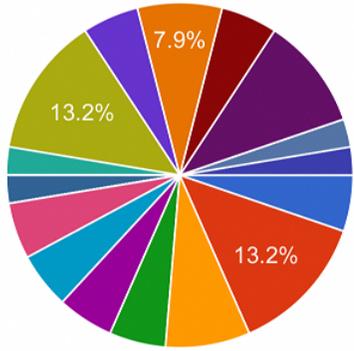
大学との連携
枚方英語村 子ども大学探検隊 ひらかた市民大学
中高生を対象とした大学体験事業
関西外大駅伝部の小学生対象の陸上体験教室 など

参加中学生



- 市内中学生が希望するクラブに参加できる。(1回だけでも可)
- 活動に係る保険料は無料(次年度以降は検討事項)
- 活動場所までは、保護者責任のもと移動

申し込み状況



- 第一中学校
 - 第二中学校
 - 第三中学校
 - 第四中学校
 - 津田中学校
 - 枚方中学校
 - 中宮中学校
 - 招提中学校
- ▲ 1/3 ▼

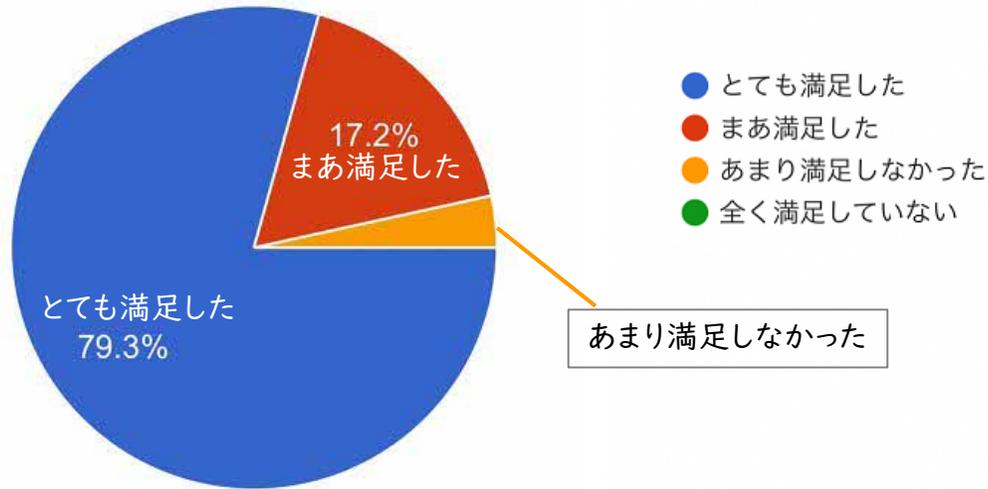
16校からのべ87人が申し込み

※斜線部は実施なし

	1月20日	2月3日	2月10日	2月17日	2月24日	3月2日	3月16日
関西外国語大学 女子駅伝部	17人			2人			14人
関西外国語大学 枚方English Village					22人		
大阪工業大学 ジャグリング部			2人	1人		3人	
大阪工業大学 ドローンプロジェクト			3人	7人		8人	
摂南大学 ダンス部枚方支部 LUFF Style		1人					
摂南大学 園芸倶楽部（植食）			3人	2人		2人	

活動後のアンケート

活動の満足度



アンケート回収数29人



- ・他の学校の人や大学生や同じ学校の人と遊べて楽しかったから。
- ・普段あまり外に出ないので、自然に触れたことが楽しかった。
- ・専門的な知識や徐々に難しくなっていく課題が、学ぶ上でとてもためになった。
- ・普段の生活では触れることのないジャグリングの道具を体験できてワクワクばかりだった。
- ・自分がやりたかった農業の体験をできたからとても満足した。
- ・花を植えたりするのが初めてで楽しかったから。
- ・工程の計画不足

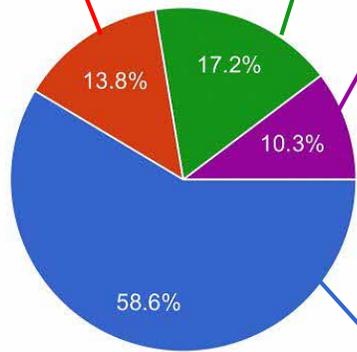
活動後のアンケート

参加した理由

大学生と一緒に活動をしてみたかったから

友達に誘われたから

特に理由はない



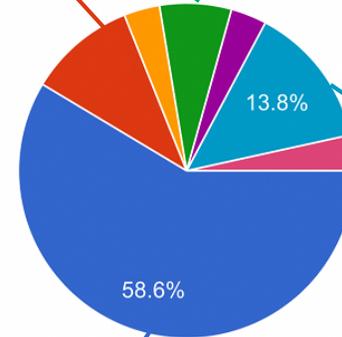
活動自体に興味があったから

- この活動自体に興味があったから
- 大学生と一緒に活動してみたかった...
- 土曜日に何かを試してみたかったから
- 友達に誘われたから
- 特に理由はない

活動を知った理由

学校の先生から聞いた

周りの大人に聞いた



学校のブログ

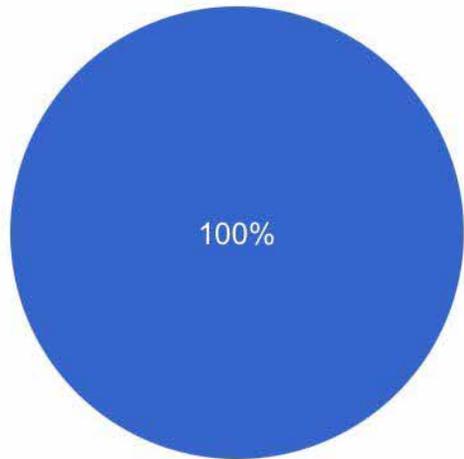
学校で配付されたチラシ

- 学校で配布されたチラシ
- 学校の学校の先生から聞いた
- 友達に聞いた
- 周りの大人に聞いた
- 教育委員会のブログを見て知った
- 学校のブログを見て知った
- 枚方市からのLINE



活動後のアンケート

また参加したいか



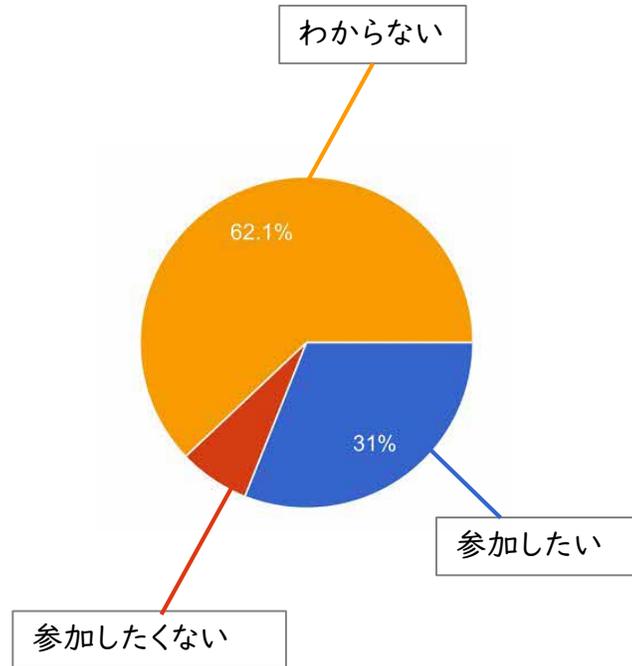
- してみたい
- したくない



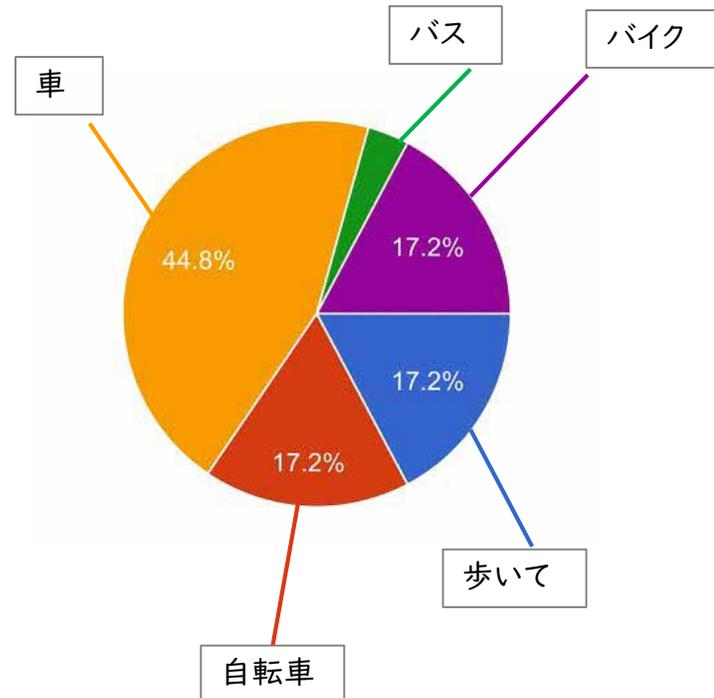
- ・大学生のみんなと一緒に練習できるのは貴重な機会だから
- ・またいろいろな長距離ができるから
- ・面白いから
- ・大学の雰囲気や教え方の工夫が興味深かったから
- ・いろいろなことを体験したいから
- ・体験してみないと伝わらないような技術の難しさがあり、学ぶことがあったから

活動後のアンケート

保険料(800円)が
自己負担でも参加したいか



会場への移動手段



活動後のアンケート

活動についての感想

- やったことがなかったなので興味がわくかわからなかったが、丁寧に教えてもらってだんだんできるようになってよかった。
- 学校の先生に行ってみたらと言われて行くことにしたが、一緒に行く友達はいないし、初対面が苦手なので不安だったけど、大学生の人たちが積極的に話しかけてきてくれて何とか会話ができたのが印象に残っている。

活動後のアンケート

活動についての感想

- ・はじめは緊張したけど大学生が優しくて、すぐに楽しくなった。
- ・来る前はちゃんと話せるかなど緊張したが、終わった後は来てよかったと心から思えるものだった。
- ・来る前は自分は体力に自信がなく、迷惑をかけないかすごく心配だったが、大学生が途中休憩を入れてくれたり気遣ってくれたので、集中して練習でき、技などができるようになった。達成感のほかに様々な思い出ができてよかった。

本試行実施での課題検証

(1) 指導者の質の保障・量の確保方策:大学生の指導者としての可能性

① 中学生にとって、大学生と活動することは想定よりもハードルが高いように感じているようで、初めの一步が踏み出せないと感じた。

→ 大学生によるPR動画を作成するなど、より身近に感じてもらう工夫が必要。

② 研修については、本試行実施は事務局作成動画を視聴したうえで指導にあたっている。

→ 令和6年度は大阪体育大学の小林准教授に研修講師を依頼。

本試行実施での課題検証

(2) スポーツ施設の確保方策：大学での活動の実施について

アンケート結果から、生徒は自分の家の近くで活動したいというニーズが強いことがわかった。

→ 中学校などに大学生に出張してもらっての活動もあると良いと感じた。

	運動部	文化部	両方	合計
1 家の近くなら参加したい	968	177	5	1,150
2 休日の活動はしたくない	659	338	3	1,000
3 自分の条件に合うところがあれば参加したい	661	170	5	836
4 学校の部活動でないのなら参加したくない	648	171	1	820
5 通学している学校または学校の近くの施設なら参加したい	681	132	3	816

本試行実施での課題検証

(3) 保護者・地域への周知方法について:チラシ等を使った周知の妥当性

本試行実施における周知方法

- ①全生徒へのポスター配付
- ②各教室(1.2年)へのポスター掲示
- ③教員からの働きかけ
- ④市教委ブログでの発信、
- ⑤GIGAフェスでのポスター配付
- ⑥市SNS(LINE、facebook)での発信

→ 生徒の目に触れるとともにいかに保護者の目に触れるかということが重要と感じた。

本試行実施での課題検証

(4) 保険の在り方: 保険の適用範囲の妥当性

中学生及び地域クラブ活動指導者の団体活動のための保険

適用範囲

- ・団体の管理下による団体活動中の事故
- ・団体が指定する集合、解散場所と被保険者の自宅との通常の往復中の事故

年間保険料 800円

→ 来場した保護者への聞き取りでは、1回だけの保険料としては割高だが、複数回参加できる活動であれば妥当であるとの回答が多かった。

本試行実施での課題検証

(その他) 日程について

土曜日の午前、または午後を設定したが、そもそも運動部は土曜日は学校部活動があることが多い。

→ **日曜日**にすることも選択肢の一つだが、大学側との折衝が必要

(その他) 活動内容について

今回は体験型ということで、1回で完結する活動とした。(園芸を除く)

→ 生徒のニーズとして、ある程度の**技術の向上をめざしている**ことも考えられる。

令和6年度 ③-2 自由体験型 地域部活動(体験型)(案)

関西外国語大学

大阪工業大学

摂南大学

クラブの大学生

クラブの大学生

クラブの大学生

クラブの大学生

クラブの大学生

クラブの大学生

大阪体育大学小林准教授によるオンライン指導者研修

各クラブ年10回~12回程度を大学生がマネジメントして行う
会場は各大学及び市内中学校での実施も

3回1クールのを4回実施

覚書の
締結

枚方市

広報ひらかた・市SNSなどで定期的な周知

令和5年度参加者のインタビュー動画
大学生によるPR動画作成

対象:枚方市立学校在籍の小学校5年生から中学校3年生
(保護者も体験できるプログラムをつくる)

試行実施を検証の上、6月ごろから先行実施予定

枚方市中学校部活動の在り方懇話会における意見まとめ

令和5年度懇話会委員

1	こばやし ひろたか	大阪体育大学 准教授
	小林 博隆	
2	くさべ まさかず	枚方市スポーツ推進委員代表
	草部 正和	
3	せき あきら	枚方市スポーツ少年団代表
	関 輝	
4	はなさき ともゆき	枚方市中学校体育連盟代表 枚方市立楠葉中学校長
	花崎 知行	
5	はぎはら まさや	大阪樟蔭女子大学 教授
	萩原 雅也	
6	なんぶ きよし	関西外国語大学 教授
	南部 潔	
7	あかい まなぶ	枚方市中学校文化系部活動代表
	赤井 学	
8	わたなべ あきの	枚方市立小学校PTA代表者
	渡邊 愛乃	
9	まきむら たけし	枚方市立中学校PTA代表者
	牧村 剛	
10	にしむら ひでさと	枚方市立東香里小学校長
	西村 英理	
11	たなか ひろし	枚方市立第三中学校長
	田中 博	

第1回懇話会（令和5年6月7日）

案件

- 部活動の地域移行についての国の動向と枚方市の部活動の現状について
- 枚方市中学校部活動の在り方について

第2回懇話会（令和5年8月3日）

案件

- アンケートについて
- 持続可能阿地域部活動「ひらかたモデル」策定に向けて

第3回懇話会（令和5年11月2日）

案件

- アンケートについて
- ひらかたモデル策定に向けて
- 施行実施について



第4回懇話会（令和6年2月27日）

案件

- 視察報告について
- アンケートについて
- 自由体験型地域部活動（体験型）の試行実施について
- ひらかたモデル策定に向けて

【コーディネーター等】

- ・事件・事故を未然に防ぐという視点から、特定の種目に対する指導者だけでなく、各活動場所にコーディネーター等を置くと良い。
- ・指導者を統括しサポートする団体の責任者・管理者の役割が重要になってくる。→いずれのクラブも複数指導体制とし、①の型の学校にはコーディネーターを配置

【指導者】

- ・参加する生徒にとって平日及び休日の活動方針が共通していないと混乱をきたすのではないか。
- ・指導者間の生徒も含めた情報共有は重要になってくる。→コーディネーターが平日の指導者と休日の指導者をつなぎ、活動方針や練習方法を共有する仕組みづくり
- ・休日における地域クラブでの指導を、部活動としての平日の練習に活用している例もある。→ニーズがあれば休日の指導を平日の練習にも生かす仕組の構築

【研修】

- ・指導者の方に虐待防止条例や最新の指導方法、救急時の対応などを知る機会を作してほしい。
- ・資格の制度を見直し、適切な指導者を選考、配置していった方が良い。→各指導者に4回の研修を実施

【受け皿】

- ・まずは多くの受け皿を用意し、生徒の受け入れ態勢ができた種目から移行していくことが現実的だと思う。
- ・学校部活動にはない競技を希望する子どもたちの為の地域移行はあって良い。→③-1型として、既存の学校部活動以外で一番ニーズの高かったダンスクラブを設置